



産で生まれる赤ちゃんもいる。でもお母さんは、その赤ちゃんを抱いておっぱいをあげようとするんです。そんな出産に何回も立ち会って思うのは、「生まれてきてくれて、命があつてここにいるだけで本当に奇跡です」と。

大怪我をして障がいが残った私は、医師に「子どもはできないかもしれないかもしれませんが」と言われました。でも、奇跡が起きました。妻の身体に新しい命が宿ったのです。それがわかった時、本当に嬉しかったです。妻は流産の危険もありましたが、息子が一生懸命子宮にしがみついています。出産の時は逆子で難産になりましたが、それを乗り越え、小さな命が無事に生まれてこられた時の感動は、今でも忘れることができません。息子が私たちを選んでくれたんだ。親にならせてくれてありがとう!と思いました。

息子は今、反抗期ピシバシの中学3年生。親を無視したり、暴言を吐いたり、腹が立つこともあります。私の母に聞くと「あんたもそうだった」と。(笑い) 息子が生まれた時、私には新



しい夢ができました。それは、一緒にスキーをすることです。それが実現しました。妻に言わせれば、15歳の息子に対し、53歳の私は、体は動かないのにライバル心むき出しだそうです。彼は私にとって、一番厳しいドリー夢メーカーです。だからこそ、父親として夢を持つ大人でいよう、何があつても人のせいにはしない生き方をしよう、と思います。

赤ちゃんの命、皆さんの命は誰のものですか?自分の命は自分だけのものではない。私達は一人でなんか生きていない。生かされている。皆さんのドリー夢メーカーは誰ですか?皆さんは今、誰のドリー夢メーカーになれていますか?

私達は「命は大切だ」と頭ではわ



講師・鎌田實氏
 (問076・242・4576)
 福岡 11月17日(日)
 福岡ガーデンパレス
 講師・三浦清一郎氏
 (問092・841・2173)

◆ミニ講演会・勉強会
 久留米 9月8日(日)
 聖マリア学院大学
 講師・山川絹江氏
 (問080・5203・0843)
 博多 10月5日(土)
 アイレフ8F
 講師・桃井雅子氏
 (問092・473・8235)

かっています。でも、本当に大切なのは、自分の命の使い方です。そのために、私は5つの誓いを実践しています。

5つの誓い

- ①口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- ②耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- ③目は人のよいところを見るために使おう
- ④手足は人を助けるために使おう
- ⑤心は人の痛みがわかるために使おう